

平成 18 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 17 年 12 月 27 日

会社名 株式会社 **NAITO**

（登記社名 株式会社 内藤）

（JASDAQ・コード番号：7624）

（URL <http://www.naito.net/>）

代表者 役 職 名 取締役社長

氏 名 鈴木 斉

問合せ先 責任者役職名 取締役経営企画部長

氏 名 五島 孝之 TEL：(03) 3800 - 8614

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

棚卸資産について、実地棚卸を省略しております。

その他影響額が僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

固定資産の減損に係る会計基準を適用しております。

商品の評価方法を移動平均法による原価法より移動平均法による低価法に変更しております。

2. 平成 18 年 2 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 3 月 1 日～平成 17 年 11 月 30 日）

(1) 経営成績の進捗状況

（百万円未満切捨て表示）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期（当期） 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18 年 2 月期第 3 四半期	36,500 (-)	1,222 (-)	1,593 (-)	1,648 (-)
17 年 2 月期第 3 四半期	-	-	-	-
(参考)17 年 2 月期	39,580	879	1,085	1,250

	1 株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
18 年 2 月期第 3 四半期	340 45	230 07
17 年 2 月期第 3 四半期	-	-
(参考)17 年 2 月期	325 31	211 55

（注）前期において決算期の変更を行ったため前期は平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 2 月 28 日までの 11 ヶ月決算となっております。また、当該決算期の変更により対象期間が異なるため、前年第 3 四半期実績の記載及び前年第 3 四半期との比較は行っていません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期における経済環境は、企業の旺盛な設備投資意欲が持続しており、自動車産業・IT 関連産業等の幅広い分野において好調な企業収益を呈し、景気の回復基調がより鮮明となりました。

このような状況の中、当社はユーザーニーズを見据えお客様の視点に立った提案型営業を強力に推進して、切削工具を中心に機械工具、産業機器を三本柱とし、これに工作機械を加えて各商品の拡販に努め顧客満足度の向上を目指した営業活動を展開しました。

この結果、売上高は 365 億円、営業利益は 12 億 22 百万円、経常利益は 15 億 93 百万円、第 3 四半期純利益は 16 億 48 百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年2月期第3四半期	15,355	5,848	38.1	691 35
17年2月期第3四半期	-	-	-	- -
(参考)17年2月期	13,234	3,921	29.6	370 03

(注)前期において決算期の変更を行ったため前期は平成16年4月1日から平成17年2月28日までの11ヶ月決算となっております。また、当該決算期の変更により対象期間が異なるため、前年第3四半期実績の記載及び前年第3四半期との比較は行っておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

資産合計は、153億55百万円(前事業年度期末比16.0%増)となりました。これは売上増大による売掛金・受取手形の増加、またそれに伴い商品在庫を充実させたことによる棚卸資産の増加等が主な要因です。

負債合計は、95億7百万円(前事業年度期末比2.1%増)となりました。これは増加要因として、買掛金の増加があり、減少要因として、岡谷鋼機株式会社が第一回転換社債型新株予約権付社債の新株予約権を行使したことによる社債の減少、借入金の約定通りの返済等が主な要因です。

資本合計は、58億48百万円(前事業年度期末比49.1%増)となりました。これは上記社債が資本勘定に振り変わったこと及び当期純利益が増加したことが要因です。

3. 平成18年2月期の通期業績予想 (平成17年3月1日～平成18年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	46,600	1,620	1,570
今回予想 (B)	48,000	2,000	2,050
増減額 (B - A)	1,400	380	480
増減率	3.0	23.5	30.6

[業績予想に関する定性的情報等]

今後の見通しにつきましては、引き続き自動車産業・IT関連産業等の設備投資が堅調に推移し、これに伴った切削工具・機械工具・産業機器等の需要も好調に持続すると予想されますので、平成17年9月7日に発表した通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科目	当第3四半期 (平成17.11.30)	前事業年度 (平成17年2月期末)	増減額	科目	当第3四半期 (平成17.11.30)	前事業年度 (平成17年2月期末)	増減額
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	13,737	11,544	2,192	流動負債	6,190	5,233	956
現金及び預金	959	1,351	391	支払手形	434	428	6
受取手形	3,832	2,777	1,054	買掛金	4,522	3,915	606
売掛金	5,844	5,168	675	1年以内返済予定長期借入金	553	310	243
商品	3,068	2,386	681	未払金	260	297	36
その他	400	298	101	その他	419	282	136
貸倒引当金	367	437	69				
				固定負債	3,317	4,079	761
固定資産	1,618	1,689	71	社債	-	250	250
有形固定資産	109	235	126	長期借入金	2,366	2,842	476
無形固定資産	218	325	106	繰延税金負債	33	14	18
投資その他の資産	1,290	1,128	161	退職給付引当金	783	715	67
投資有価証券	418	372	46	債務保証損失引当金	78	111	32
破産更生債権等	383	368	15	その他	55	144	89
敷金・保証金	855	730	124				
その他	56	93	37	負債合計	9,507	9,312	194
貸倒引当金	419	432	12	(資本の部)			
投資評価引当金	4	4	-	資本金	2,291	2,166	125
				資本剰余金	2,285	2,160	125
				利益剰余金	1,232	416	1,648
				その他有価証券評価差額金	49	21	27
				自己株式	10	10	-
				資本合計	5,848	3,921	1,926
資産合計	15,355	13,234	2,120	負債及び資本合計	15,355	13,234	2,120

2 .(要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科 目	当第3四半期 自 平成 17 年 3 月 1 日 至 平成 17 年 11 月 30 日		前事業年度 自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 2 月 28 日	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
売 上 高	36,500	100.0	39,580	100.0
売 上 原 価	32,036	87.8	34,750	87.8
売 上 総 利 益	4,464	12.2	4,829	12.2
販売費及び一般管理費	3,241	8.9	3,950	10.0
営 業 利 益	1,222	3.3	879	2.2
営 業 外 収 益	763	2.1	827	2.1
営 業 外 費 用	392	1.1	620	1.6
経 常 利 益	1,593	4.3	1,085	2.7
特 別 利 益	121	0.3	275	0.7
特 別 損 失	39	0.1	68	0.1
税引前四半期(当期)純利益	1,675	4.5	1,291	3.3
法人税、住民税及び事業税	27	0.0	41	0.1
四半期(当期)純利益	1,648	4.5	1,250	3.2